

# やさしい、風

編集：ボランティアコーディネーター 川井 恵子 協力：キートスボランティアさん達

## <キートス広場でのこけしの展示に寄せて>

もう10年以上も前の一時期、東北地方の「伝統こけし」にハマっておりました。実家（宮城県）に帰省する折などに足をのばして産地へ赴き、買い集めたものです。伝統こけしは温泉地の土産物として発展して来たことから、産地の多くは温泉地にあるので、湯宿に泊ったり、共同浴場巡りをしたことも楽しい思い出です。一本一本顔を見ながら並べていると、それらを買った旅のことが懐かしく思い出されました。

伝統こけし集めの魅力は、こけしそのものにとどまりません。その背景にある、ろくろで木を挽く木地師の文化、湯治などの温泉文化などにも及び、とても奥深い世界だと思っています。

いつしか私のこけし熱も冷め、また、狭い自宅ゆえ飾る場所もなく、押し入れにしまい込まれていた子達が、今回、陽の目を見ることができ、嬉しくっております。私の隠れた趣味を目の当たりにして、「引いて」しまった職員もいたようですが（笑）。紙面上でのご紹介で恐縮ですが、ご覧頂ければ幸いです。

至誠ホームキートス 園長 大友 正樹







← 着付けボランティアの加賀晴子さんと素敵な着物姿のお二人  
加賀ボランティアさんは、普段は、デイホームで毎週行われている陶芸のボランティアとしておいで下さっています。又お正月には毎年着付けのボランティアとして、ご入居者の方や職員に着物の着付けをして下さっています。今年も2名の職員に似合う着物を用意して下さい、付属小物もすべて用意して頂きありがとうございました。

陶芸・着付け等10年以上のボランティア活動を続けて下さっているお気持ちを伺いました。

## ボランティア活動に寄せて

2021/1/12 加賀 晴子

何も取り柄もないので、ボランティアは出来ないと思っていました。

ところがお祭りに偶然お客様になって参加した後、友人にボランティアをやってみたらと言われて、後日覚悟を決めてボランティアの心得の説明を受けました。それなりの決まりがあるんだなと感心しました。



何ができるの？ … ミシン踏みで雑巾を縫うとか。コーヒーは飲まないで作れませんが、ウエイトレスならOKですけど…。陶芸は趣味でやっています。着付けならできますといった具合。

当面、得体の知れない私に、ウエイトレスと懐かしい歌の歌唱補助が当てられました。



美しい声で歌うボランティアさんに付いて合唱しているご入居者さんたちから、ホームの活動ボランティア活動が、いかに大切なのかと少しずつ理解していきました。のど飴が欲しいこともありましたけどね。



何ヶ月かして陶芸サークルの要員へ回されました。趣味でかなりの時間をかけていたので、ちょっとワクワクしました。陶芸の先生がいろいろ創意工夫して、利用者さんに簡単に楽しく指導されているのには感動しました。すっかり魅了され、おしゃべり仲間もでき活動日が楽しみになりました。そうそうミシン踏みからはお呼びがありませんでした。もしあっても技術的についていけなかったと思います。

着付けの役立ち始めは？！ 浴衣をお着せすることでした。浴衣を着ることは、改まった気分になって良いのでしょうか。長い時間は無理のようですが嬉しそうに見えました。が毎年はありませんでした。

しかし、元日の新年祝賀会にご入居者さんに和服をお着せするチャンスができました。お年寄りの着付けは今まで学ぶ機会はなく、創意工夫の分野で随分勉強になりました。あの方にはこの柄の着物が、この方には着丈の長いものとか、負担のかからない作り帯にしたり、襦袢も二部式にしたりして、立ち居のできない方たちにも、いろいろ工夫をしたりしました。

ご入居者さんの袖を通すしぐさ、身じまいは昔取った杵柄で、自然に手を動かしていくのです。若かりし頃のことも思い出すようでした。

少し以前までは正月に晴れ着を装う楽しみがありました。昨今は成人式の通過儀礼を目一杯華やかに着飾る風習が主流になっていますネ。

一人では着られないこの厄介な美しいキモノを着せてみたい！ 衝動にかられてしまいました。こちらも工夫を重ね、あの手この手と体型に合うよう美しく仕上げたいと、いわゆる上手く着せられると嬉しくなるのです。



今年は二人の職員さんたちにお着せしました。華やいできれいでした。正月が来たと実感します。残念ながら今年のご入居者さんは、コロナ予防のためできませんでした。

早や10年 ボラ活動をすっかり楽しんでいました。

コロナ禍が、早く無くなりますようにお祈りします。